







# Alute

## 丁寧な線

量産を前提として設計された建材に付きまとう、あと一歩及ばない細部の納まり、どこか余計な要素、謎の存在感。それらを極限まで取り除くことを目指した室内手摺、それが Alute です。ノイズを抑えた笠木と支柱の納まり、一本のラインに見える中棧など、あくまで一本の丁寧な線であることにこだわりました。笠木や中棧は現場調整が容易な自在機構でありながらも、造作手摺のような佇まいが Alute には宿っています。



## 室内手摺 Alute アルテ 吹抜手摺

タイプ	サイズ	カラー	品番	定価	Detail
吹抜手摺	H1015	ブラック	ALU10F-BK	¥ 69,200 ~	[材質] アルミニウム スチール ASA [サイズ] 支柱Φ 35・笠木Φ 35・中棧Φ 13mm
	H1100	ブラック	ALU11F-BK	¥ 70,200 ~	
吹抜手摺コーナー セット	H1015	ブラック	ALU310D-BK	¥ 79,300 ~	
	H1100	ブラック	ALU311D-BK	¥ 79,800 ~	







笠木、支柱、中棧、そのまっすぐな線を邪魔しないよう、段鼻、足元の固定方法は極力シンプルに。足元の透かしは、不陸を吸収し現場の組み立てをサポートする施工性と、支柱が軽やかに踏板に乗るような印象を与える意匠性、その両方を兼ね備えます。視覚的要素がむやみに多くなる宿命を負う量産前提のディティールを、改めて分解、再構築しました。量産品でありながら、造作手摺を彷彿とさせる存在感を Alute は放ちます。

参考価格：¥72,600  
笠木 L：1139mm・支柱本数：2本・段数 5 段



## 室内手摺 Alute アルテ 階段手摺

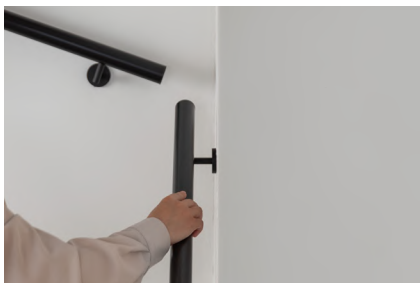
タイプ	サイズ	カラー	品番	定価	Detail
階段手摺	笠木 L 810 ～	ブラック	ALU10K-BK	¥ 69,500 ～	[材質] アルミニウム スチール ASA [サイズ] 支柱Φ 35・笠木Φ 35・中棧Φ 13mm







Alute シリーズは既製品特有の野暮ったさを廃し、オーダーメイドの造作のように洗練された形状を追及しています。壁付手摺はその究極形とも言えます。なにげないシンプルな造形の中に、ささやかなアクセントがちりばめられ量産品としての完成度と、造作のような洗練が同居をしています。ブラケットのパイプ部を、吹抜・階段 Alute の支柱の首（笠木と接続される細くなっている部分）と同じ太さにすることでシンプルながらもシリーズ感が付与され吹抜・階段・壁付を一緒にご使用いただいても統一感のある空間を作り出します。ブラケットはアルミ笠木、木笠木両方に対応可能です。



## 室内手摺 Alute アルテ 壁付手摺

タイプ	サイズ	カラー	品番	定価
アルミ笠木	笠木 L 650 ～	ブラック	ALW40AR-BK	¥ 14,100 ～
木笠木	笠木 L 4000	ブラック	ALW40MR-BK	¥ 47,700 ～

### Detail

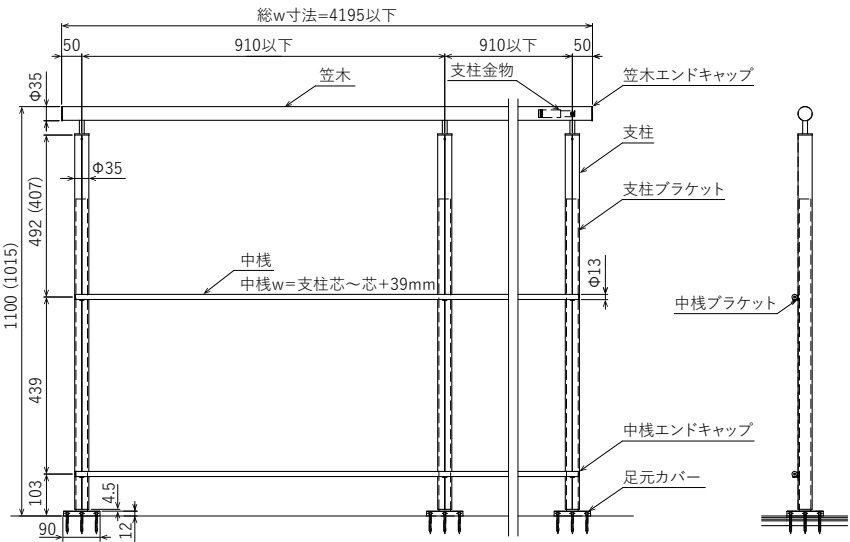
[材質] アルミ笠木：亜鉛ダイカスト PP アルミ押出材 スチール

木笠木：亜鉛ダイカスト PP ゴム集成材

[サイズ] 笠木Φ 35

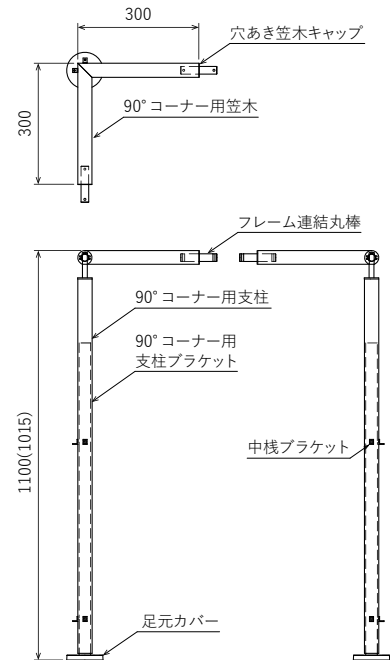
手 摺 | 室内手摺 Alute アルテ 吹抜手摺

吹抜手摺 寸法



※手すりの強度は支柱と笠木によって確保しております。中棧は強度には関係ありません。  
中棧は視覚上の安心感を与えるために設置しており、シャープな印象が伝わるように出来るだけ細く製作しています。  
登るなど強い力を加えると変形することがございますのでご注意ください。

吹抜出隅コーナーセット 寸法



出隅コーナー用のセットです。  
コーナーの中心に支柱を立てることが可能です。

材質

笠木・支柱・中棧：アルミ押出型材（アルマイト仕上）  
支柱金物 フレーム側：スチール切削（メッキ加工）  
支柱金物 支柱側：スチール切削（焼付塗装）  
支柱プレート・中棧プレート・中棧固定用裏板・笠木エンドキャップ・笠木ジョイント・穴あき笠木キャップ：スチール（焼付塗装 / メッキ加工）  
中棧エンドキャップ：ステンレス  
足元カバー：ASA  
90° コーナー用笠木：アルミ押出型材（焼付塗装）

付属品

六角レンチ 2.0mm/2.5mm/3.0mm ※付属するビス類は取付方法参照

吹抜手摺 定価

H	H1100	H1015				
品番	ALU11F-BK	ALU10F-BK				
笠木 L (mm)	支柱 本数	基本セット価格 (※)		笠木単価	支柱単価	
		H1100	H1015		H1100	H1015
～ 550	2	¥ 70,200	¥ 69,200	¥ 16,200	¥ 27,000	¥ 26,500
～ 1010	2	¥ 74,800	¥ 73,800	¥ 20,800		
～ 1465	3	¥ 107,200	¥ 105,700	¥ 26,200		
～ 1920	3	¥ 113,500	¥ 112,000	¥ 32,500		
～ 2235	4	¥ 149,100	¥ 147,100	¥ 41,100		
～ 2830	4	¥ 153,300	¥ 151,300	¥ 45,300		
～ 3285	5	¥ 182,900	¥ 180,400	¥ 47,900		
～ 3740	5	¥ 186,000	¥ 183,500	¥ 51,000		
～ 4195	6	¥ 216,200	¥ 213,200	¥ 54,200		

※笠木単価＋支柱単価×支柱本数

吹抜手摺コーナーセット 定価

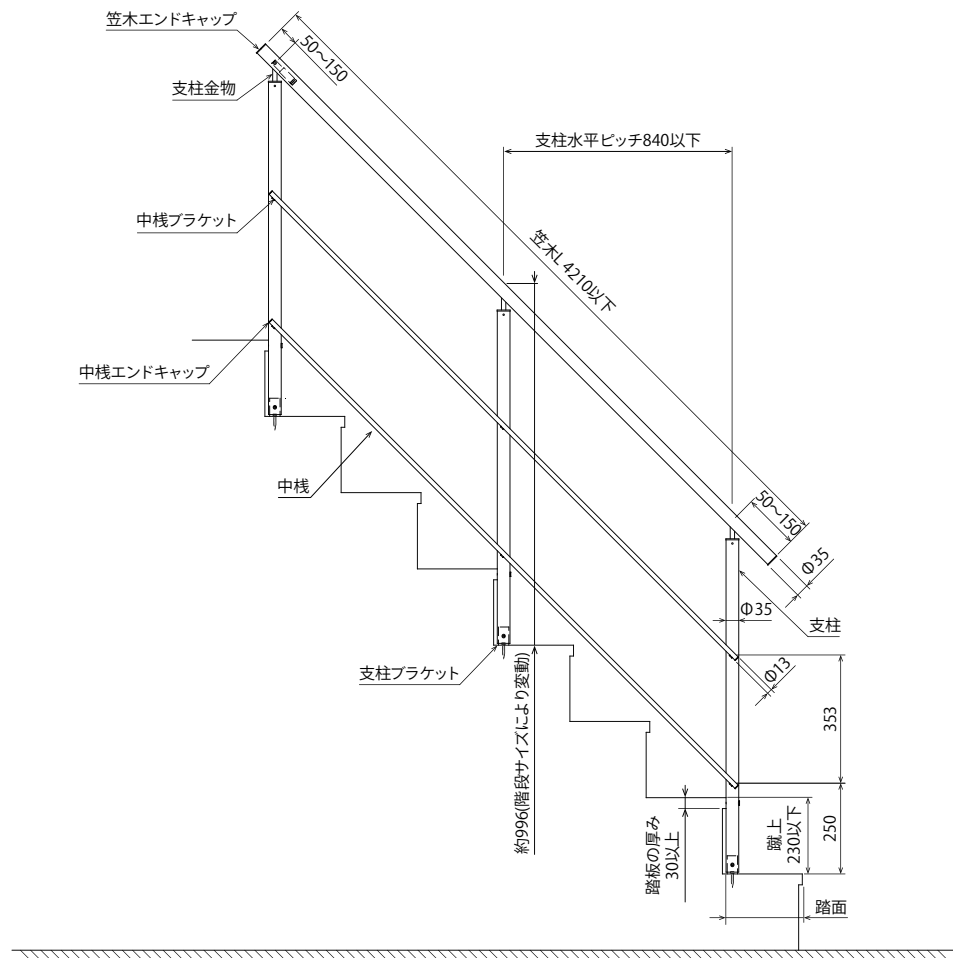
H	H1100	H1015				
品番	ALU311D-BK	ALU310D-BK				
笠木 L	支柱 本数	基本セット価格 (※)		コーナー 笠木 単価	支柱単価	
		H1100	H1015		H1100	H1015
300 × 300	1	¥ 79,800	¥ 79,300	¥ 42,100	¥ 37,700	¥ 37,200

※コーナー笠木単価＋支柱単価×支柱本数



手 摺 | 室内手摺 Alute アルテ 階段手摺

寸法



材質

笠木・支柱・中棧：アルミ押出型材（アルマイト仕上） 支柱金物 フレーム側：スチール切削（メッキ加工）  
支柱金物 支柱側：スチール切削（焼付塗装）  
支柱ブラケット・中棧ブラケット・中棧固定用裏板・笠木エンドキャップ：スチール（焼付塗装／メッキ加工）  
中棧エンドキャップ：ステンレス 段鼻キャップ：ASA

付属品

六角レンチ 2.0mm/2.5mm  
段鼻固定用穴野書き治具  
アルミ補修ペン  
※付属するビス類、スペーサーは取付方法参照

階段手摺 定価 （踏面 210mm 蹴上 215mm をモデル寸法にしています。）

品番 ALU10K-BK

段数 (目安)	笠木 L (mm)	支柱 本数	基本セット価格	価格内訳		段数 (目安)	笠木 L (mm)	支柱 本数	基本セット価格	価格内訳	
				笠木単価	支柱単価					笠木単価	支柱単価
4	～ 810	2	¥ 69,500	¥ 20,500	¥ 24,500	10	～ 2610	3	¥ 121,900	¥ 48,400	¥ 24,500
5	～ 1110	2	¥ 72,600	¥ 23,600		11	～ 2910	4	¥ 148,700	¥ 50,700	
6	～ 1410	3	¥ 77,700	¥ 28,700		12	～ 3210	4	¥ 151,000	¥ 53,000	
7	～ 1710	3	¥ 106,900	¥ 33,400		13	～ 3510	4	¥ 153,200	¥ 55,200	
8	～ 2010	4	¥ 114,100	¥ 40,600		14	～ 3810	4	¥ 155,500	¥ 57,500	
9	～ 2310	4	¥ 119,600	¥ 46,100		15	～ 4110	5	¥ 182,300	¥ 59,800	

※段数に対する笠木の L 寸法は目安になります。踏面寸法、蹴上寸法が変わると、笠木の L 寸法、必要な支柱数が変わりますので、笠木の L 寸、支柱数についてはオーダーシートを使い、必ずお客様ご自身でご確認いただき、指定してください。

物干し  
—  
手摺  
—  
造作材  
—  
床面材  
—  
外廻り  
—  
資料

# 手 摺 | 室内手摺 Alute アルテ 吹抜手摺 階段手摺

寸法			
部品名	壁フレドメ	支柱フレドメ	笠木ジョイント
品番	ALU9W-BK	ALU9P-BK	ALU3-BK
定価	¥15,000 / セット	¥19,800 / セット	¥6,000 / セット
材質	スチール (焼付塗装 / メッキ加工)	アルミニウム (アルマイト / 焼付塗装)	スチール (メッキ加工)
付属品	壁フレドメフレーム側……………×1ヶ 壁フレドメ壁側……………×1ヶ 穴あき笠木キャップ……………×1ヶ サラ木ネジ 4.8×50mm……………×1本 極低頭キャップボルト 5×12mm ……×1本 ホーローセット 5×18mm……………×1本 金属用接着剤……………×1ヶ	支柱フレドメ……………×2ヶ Φ13mm 型材 (中棧用型材)……………×1本 ホーローセット 4×4mm……………×4本 ホーローセット 4×8mm……………×2本	フレーム連結丸棒……………×1本 ホーローセット 5×18mm……………×2本 穴あき笠木キャップ……………×1ヶ
備考	笠木を壁面に固定できます。笠木端部から壁まで 22±4mm の隙間が必要です。	階段手摺と吹抜手摺等、Alute の支柱同士が隣接する箇所で、支柱同士を接続できます。Φ13mm 型材を現場でカットし、使用します。	コーナー笠木使用時等、笠木を延長する際に使用します。

寸法			
部品名	コーナー笠木	コーナー笠木カット	アルミ補修ペン
品番	ALU30C-BK	ALU8C-MC	AF10-B
定価	¥42,100	¥5,500 / カット	¥1,500 / 本
材質	アルミ押出型材 (焼付塗装)	-	-
付属品	90° コーナー笠木……………×1ヶ 笠木ジョイント……………×2本	-	-
備考	入隅コーナー等で、コーナー笠木のみ購入する際のオプションです。※吹抜手摺専用です。	300mm 以下のコーナーにコーナー笠木を使用する際のカットオプションです。※吹抜手摺専用です。	黒色の補修ペンです。設置時に露出した金属の素地を補修できます。※階段手摺には予め付属します。



## 仕様に関する補足

---

### 吹拔手摺

- ・コーナー笠木と直線部材を組み合わせる場合は、吹拔手摺の W 寸法から「-300mm」の笠木を選択してください。
- ・吹拔出隅コーナーセットは出隅専用です。入隅部は支柱を 2 本設置する必要があります。
- ・コーナー部材を組み合わせる場合には、吹拔手摺の支柱ピッチが 910mm 以下になるように支柱本数を調整してください。
- ・笠木の端部から近接する支柱の芯までのピッチは 50mm 以下にしてください。
- ・壁フレドメを使用する場合の、壁面から支柱芯までのピッチは、最大 150mm です。
- ・支柱フレドメを使用する場合の支柱と支柱間のピッチは、最大 241mm です。

### 階段手摺

- ・段数に対する笠木の L 寸法は目安になります。
- ・支柱ピッチ（水平寸法）が 840mm 以下になるように支柱本数を調整してください。
- ・支柱は 1 段目の踏板（2 段目の段鼻）から始まる仕様となっています。

## ※吹拔手摺・階段手摺の強度について

---

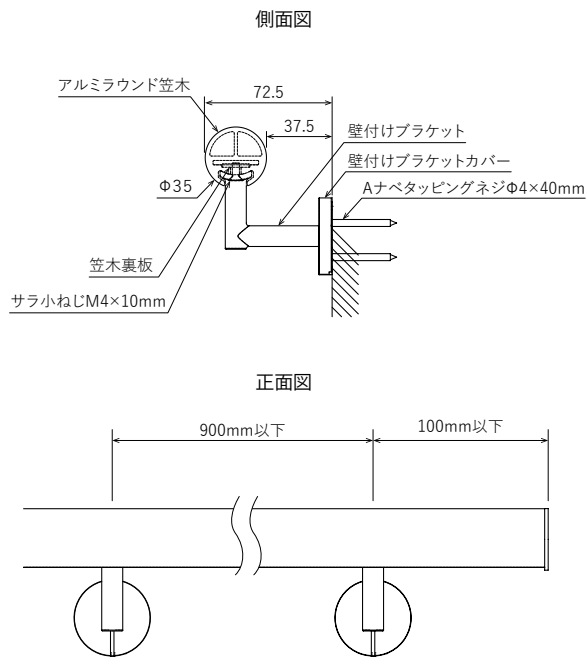
手摺の強度は支柱と笠木によって確保しております。中残は強度には関係ありません。

中残は視覚上の安心感を与えるために設置しており、シャープな印象が伝わるように出来るだけ細く製作しています。

登るなど強い力を加えると変形することがございますのでご注意ください。

手 摺 | 室内手摺 Alute アルテ 壁付手摺

壁付手摺 アルミ笠木 寸法



材質

壁付ブラケット：亜鉛ダイカスト  
アルミ笠木：アルミ押出型材  
壁付ブラケットカバー：PP  
笠木裏板・笠木エンドキャップ（アルミ笠木用）：スチール

付属品

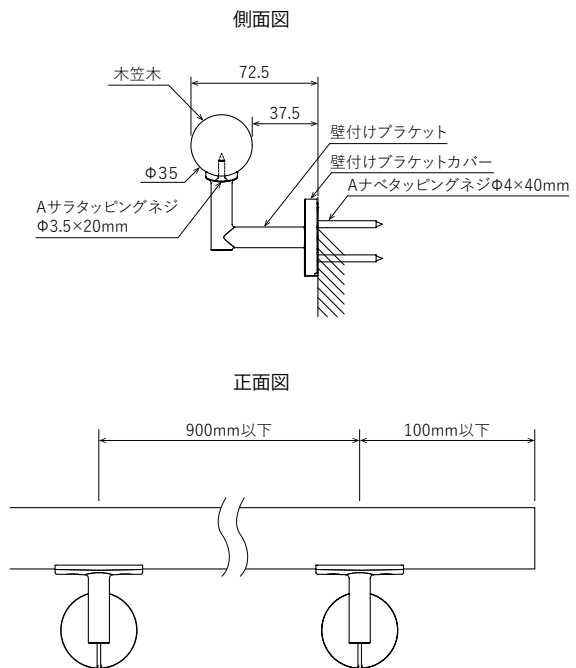
六角レンチ 2.0mm

壁付手摺 アルミ笠木 定価

笠木 L	ブラケット数	基本セット価格	価格内訳	
			笠木単価	ブラケット単価
650	2	¥ 14,100	¥ 7,700	¥ 3,200
1110	2	¥ 19,000	¥ 12,600	
1550	3	¥ 27,200	¥ 17,600	
2000	3	¥ 32,100	¥ 22,500	
2450	4	¥ 40,300	¥ 27,500	
2900	4	¥ 45,200	¥ 32,400	
3350	5	¥ 53,400	¥ 37,400	
3800	5	¥ 58,300	¥ 42,300	
4500	6	¥ 69,200	¥ 50,000	

※アルミラウンド笠木は、オーダーサイズでカットして出荷可能です。また、アルミ用チップソーをご用意いただければ現場で切断も可能です。  
※ブラケット単品でも購入可能です。

壁付手摺 木笠木 寸法



材質

壁付ブラケット：亜鉛ダイカスト  
木笠木：ゴム集成材  
壁付ブラケットカバー：PP

付属品

小口塗装用補修液

壁付手摺 木笠木 定価

笠木 L	ブラケット数	基本セット価格	価格内訳	
			笠木単価	ブラケット単価
4000	6	¥ 47,700	¥ 28,500	¥ 3,200

※木笠木（ゴム集成材）は、ブラック塗潰し 1 色のみです。  
※木笠木のサイズは L4000mm1 種類のみです。現場で切断してご使用ください。  
※ブラケット単品でも購入可能です。



## 注意事項

---

### ■施工上のご注意

- \*外部用手摺として使用しないでください。
- \*組み立て部品・ネジは付属品を使用してください。
- \*取り付けは必ず専門業者で行ってください。
- \*本製品はアルミ型材のため、製品の切断にはアルミ用のチップソーをご使用ください。
- \*切断後に生じた製品のバリにはヤスリを掛けてください。
- \*笠木のジョイント部に段差が生じないようにしてください。段差が生じると断面が露出し、事故・けが等の原因となります。
- \*支柱ブラケットは必ず下地に固定してください。
- \*階段用手摺は、厚み 30mm 以上の踏板を使用してください。

### ■使用上のご注意

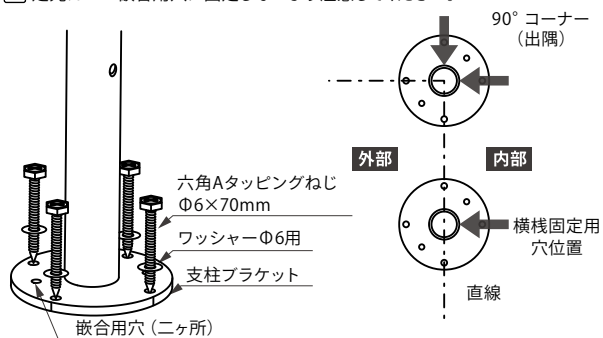
- \*製品の破損やケガの原因となりますので、以下の行為は絶対にしないでください。
  - ・手摺にロープ等をかけて、重いものを運搬する。
  - ・手摺以外の用途に使用する。
  - ・手摺の上に乗ったり、身を乗り出す。
  - ・当社指定の付属品以外のものを取り付ける。
  - ・分解、改造を行う。

### ■発注前のご注意

- \*図面から概算の見積作成が可能です。お見積りをご依頼の際には、現場平面図 / 立面図をお送りください。
- \*カタログ内の階段手摺 基本セット価格は“目安の金額”です。踏面 / 蹴上寸法によって、部材数 / 価格は変動いたします。
- \*材のみとなります。採寸 / 工事は行っておりません。

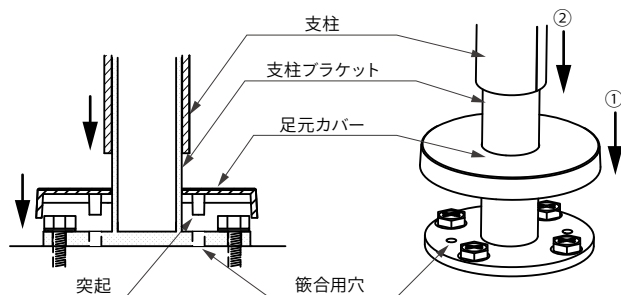
## 1. 支柱ブラケットの固定

- ① 支柱ブラケットを、六角AタッピングねじΦ6×70mmで固定してください。
- ⚠ 支柱ブラケットのパイプに開いた中棧固定用の穴の向きに注意してください。
- ⚠ 必ず床材（フローリング等）の下地に固定してください。
- ⚠ 足元カバー嵌合用穴に固定しないよう注意してください。



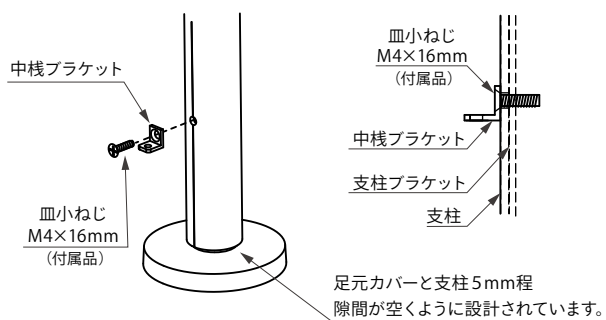
## 2. 足元カバーと支柱を被せる

- ① 支柱ブラケットに足元カバーを差し込み、足元カバー内側の突起を、支柱ブラケットの嵌合用穴に差し込んでください。
- ② 足元カバーを装着後、支柱ブラケットに支柱を差し込んでください。

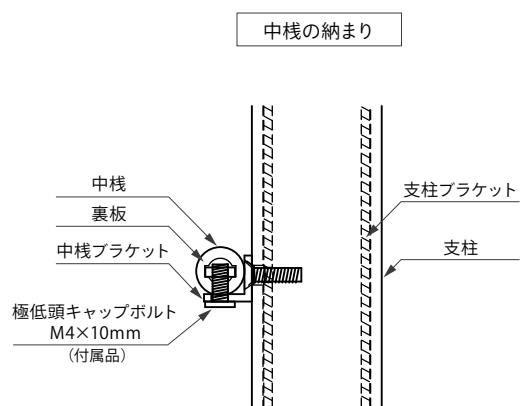


## 3. 中棧ブラケットの取り付け

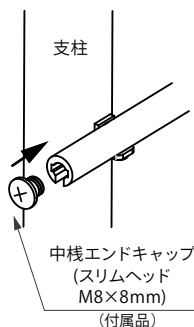
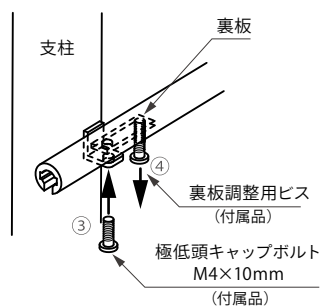
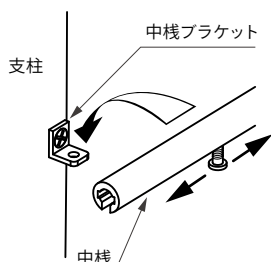
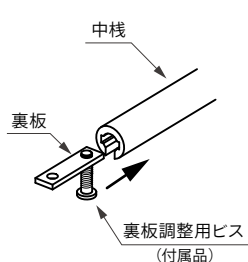
- ① 支柱と支柱ブラケットの穴位置を揃え、皿小ねじM4×16mmで中棧ブラケットを固定してください。



## 4. 中棧の取り付け



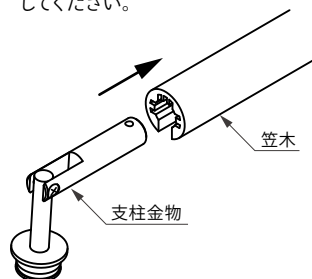
- ① 裏板調整用ビスを装着した裏板を中棧に差し込んでください。
- ② 支柱に取り付けた中棧ブラケットに中棧を乗せ、裏板とブラケットの穴位置を合わせてください。
- ③ 極低頭キャップボルトM4×10mmでブラケットと裏板を固定してください。
- ④ 裏板調整用ビスを外してください。
- ⑤ 中棧の両端を、中棧エンドキャップでフタをしてください。



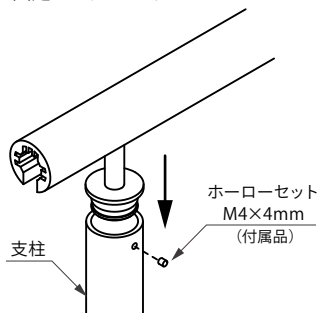


## 5. 笠木の取り付け

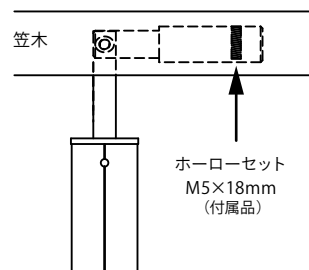
- ① 笠木に支柱金物を差し込んでください。  
支柱金物が笠木の中でその他の部材と干渉しないよう、差し込む向きに注意してください。



- ② 支柱金物を支柱に差し込み、  
ホーローセットM4×4mmで  
固定してください。

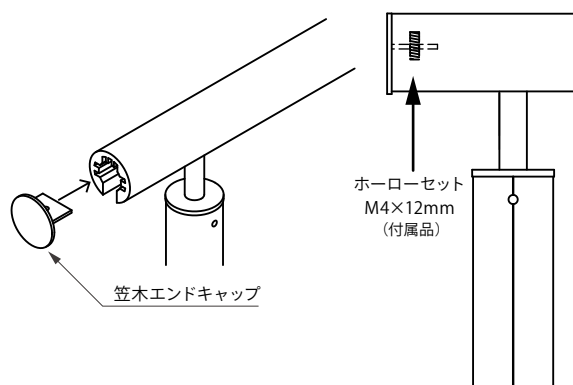


- ③ 支柱金物をホーローセットM5×18mmで  
笠木に固定してください。

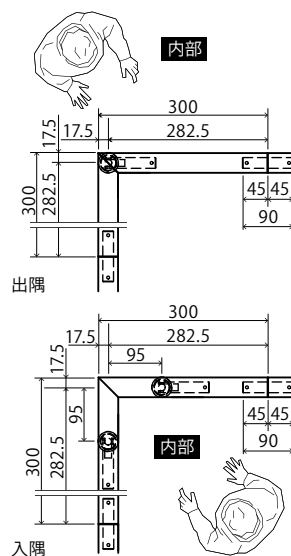
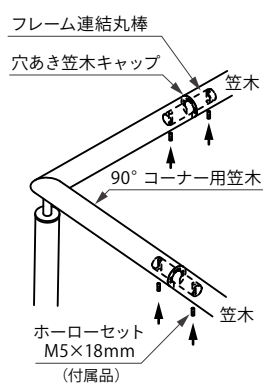


## 6. エンドキャップの固定

- ① 笠木の端に笠木エンドキャップを差し込み、  
ホーローセットM4×12mmで固定してください。



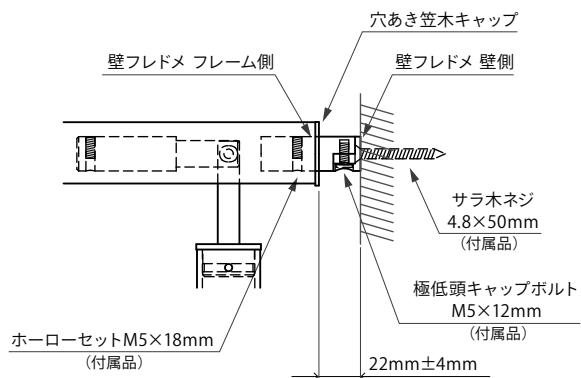
## ● 90° コーナー笠木の収まり



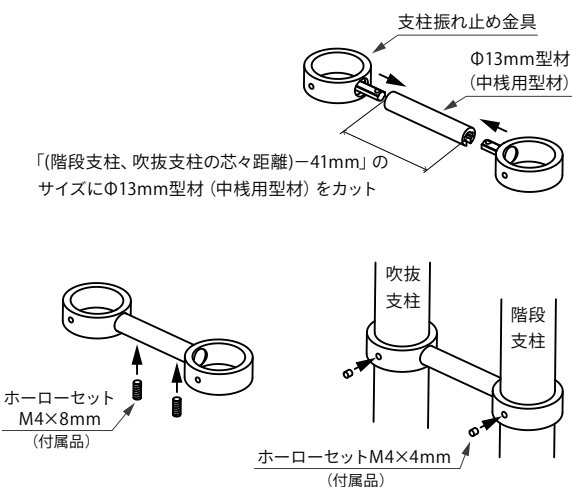
※上記の図は出隅のコーナーです。

## ● 壁フレドメの収まり

- △ 笠木の揺れを抑えるために、なるべく壁フレドメをご使用ください。



## ● 支柱フレドメの収まり

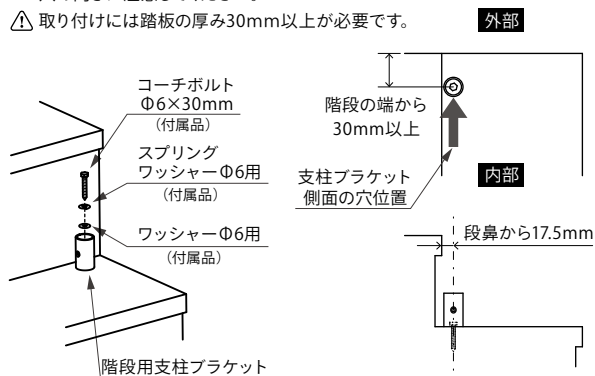


## 1. 支柱ブラケットの取り付け

- ①階段用支柱ブラケットを、コーチボルト6×30mmで  
踏板上に固定してください。

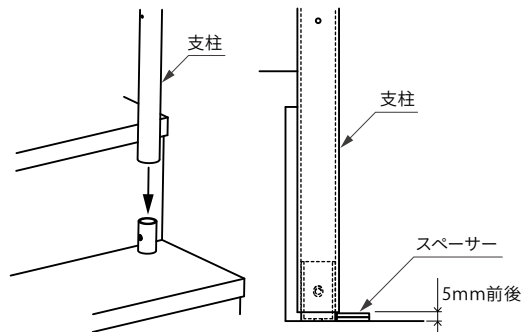
⚠ 階段用支柱ブラケットに開いた支柱固定用の  
穴の向きに注意してください。

⚠ 取り付けには踏板の厚み30mm以上が必要です。



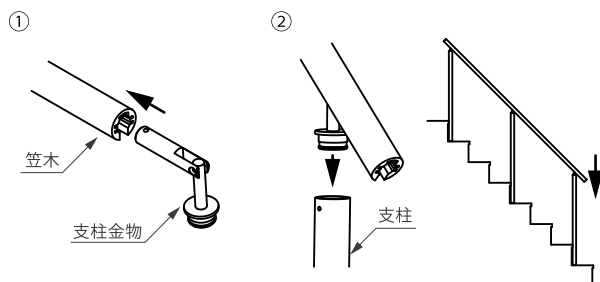
## 2. 仮組み①

- ①支柱ブラケットに支柱を差し込み、仮組みします。  
高さを調整するために、踏板と支柱の間に  
スペーサーを挟んでください。(目安5mm前後)



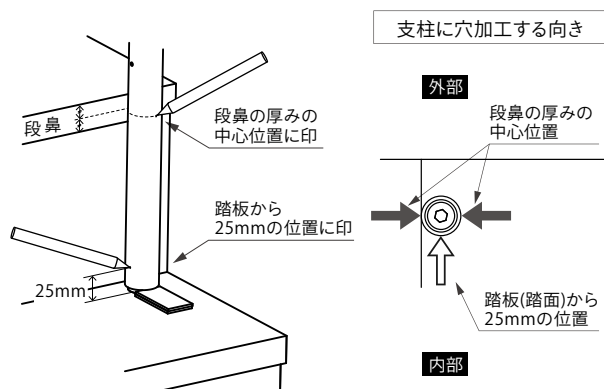
## 3. 仮組み②

- ①笠木に支柱金物を差し込んでください。  
②支柱金物を支柱に差し込んでください。  
支柱と支柱金物に隙間ができないよう  
スペーサーを使って支柱の高さを調節してください。



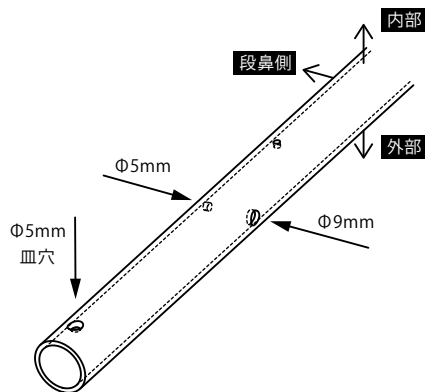
## 4. 支柱の加工①

- ①支柱の穴加工する箇所に印を付けます。



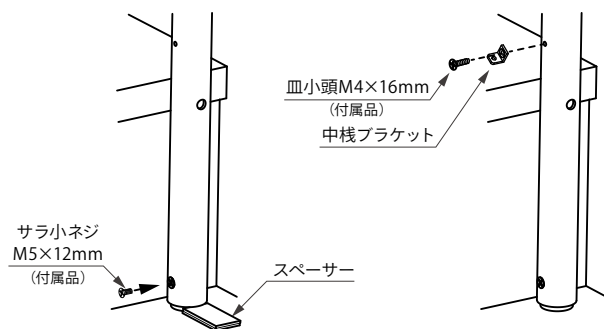
## 5. 支柱の加工②

- ①笠木、支柱を一度外し、  
支柱の印を付けた箇所に穴をあけてください。



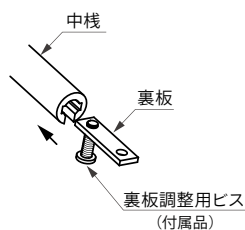
## 6. 支柱と中棧ブラケットの取り付け

- ①支柱を支柱ブラケットに差し込み、  
皿穴加工した箇所を  
サラ小ネジM5×12mmで  
固定してください。
- ②中棧ブラケットを、  
皿小頭M4×16mmで  
固定してください。

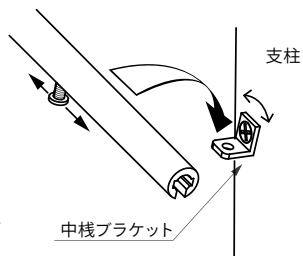


## 7. 中棧の取り付け

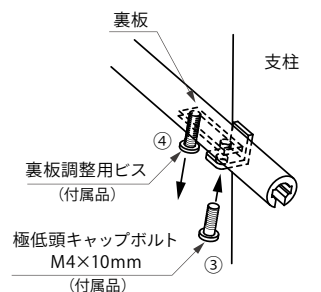
- ①裏板調整用ビスを装着した裏板を中棧に差し込んでください。



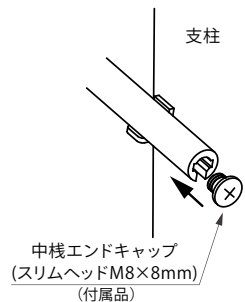
- ②支柱に取り付けた中棧ブラケットに中棧を乗せ、裏板とブラケットの穴位置を合わせてください。



- ③極低頭キャップボルトM4×10mmでブラケットと裏板を固定してください。  
④裏板調整用ビスを外してください。

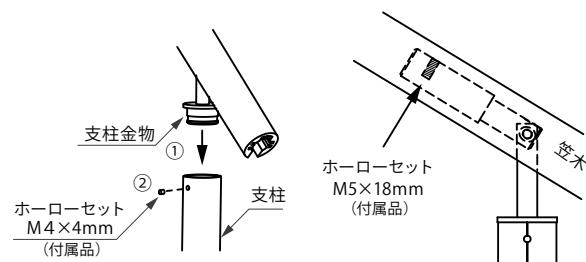
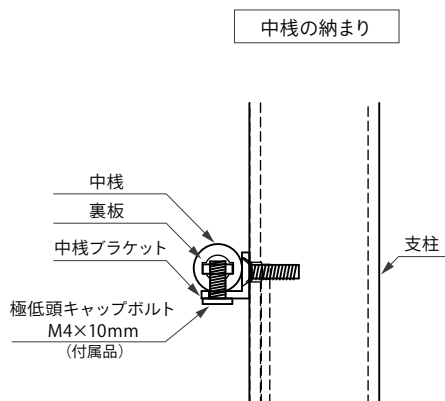


- ⑤中棧の両端を、中棧エンドキャップでフタをしてください。



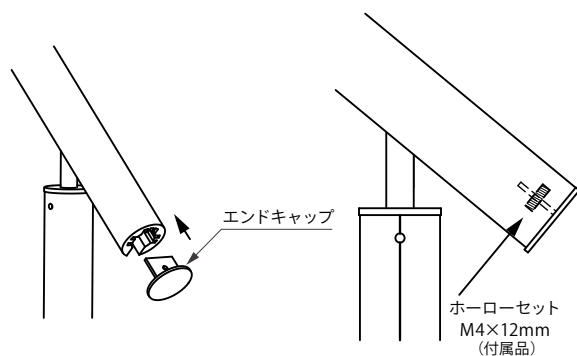
## 8. 笠木の取り付け

- ①笠木に支柱金物を差し込み、支柱金物を支柱に差し込んでください。  
②ホーローセットM4×4mmで固定してください。  
③支柱金物をホーローセットM5×18mmで笠木と固定してください。



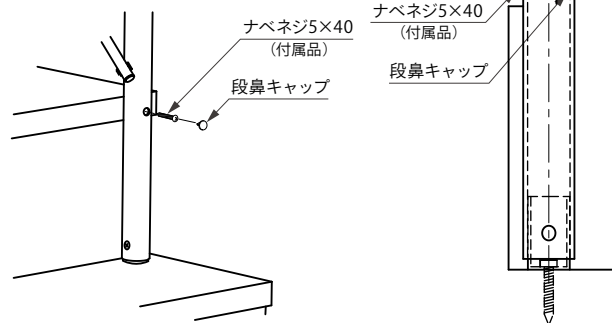
## 9. エンドキャップの固定

- ①笠木の端に笠木エンドキャップを差し込み、ホーローセットM4×12mmで固定してください。



## 10. 段鼻の固定

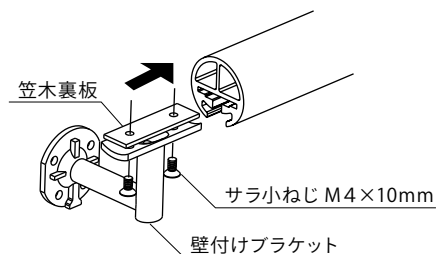
- ①支柱を段鼻にナベネジ5×40mmを使って固定してください。  
②開いた穴に、段鼻キャップを差し込み蓋をしてください。



# 手 摺 | 室内手摺 Alute アルテ 壁付手摺 【アルミ笠木】

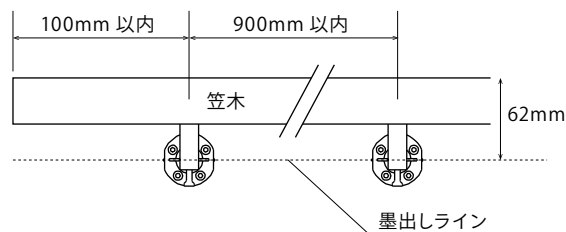
## 1. 墨出し

壁付けブラケットと笠木裏板をサラ小ねじM4×10mmで仮組みし、笠木に差し込んでください。



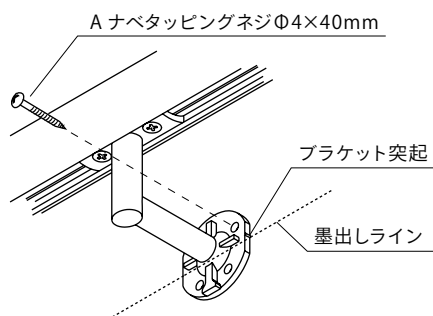
## 2. ブラケットの仮固定

壁に固定するおおよその間隔を開けた状態で裏板を締め、ブラケットを仮固定してください。

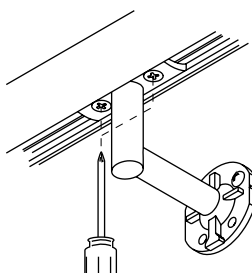


## 3. ブラケットと笠木の固定

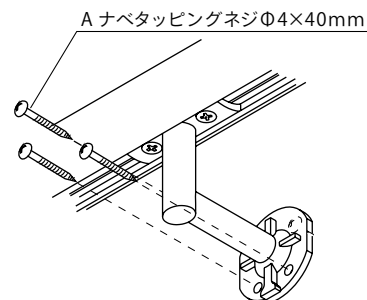
① 墨出しラインにブラケットの突起を合わせ、Φ2.8の下穴を開けてください。  
AナベタッピングネジΦ4×40mmで一か所とめ、仮固定してください。



② 笠木と仮固定していたブラケットのビスを締め、しっかりと固定してください。



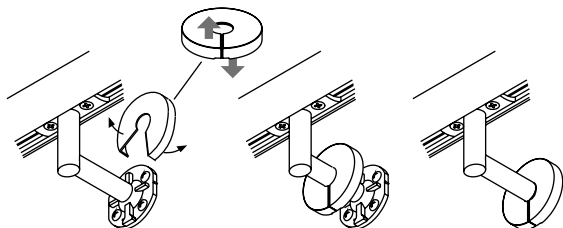
③ ブラケットに残りのビスを取り付けて本固定してください。固定の際は、下穴Φ2.8mmを開けてください。



## 5. カバーの取付

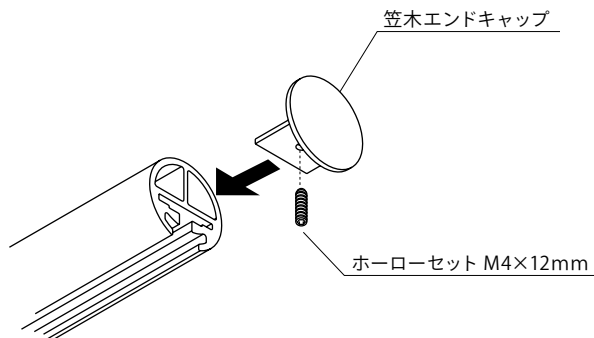
ブラケットにカバーを取り付けてください。  
カバーをねじるようにして広げて取り付けてください。

- ⚠ ブラケットの太さより広げないでください。破損の原因となります。
- ⚠ カバーは外しにくい構造となっています。今後の施工でブラケットを外す可能性が無い状態になってからカバーを取り付けてください。



## ●エンドキャップの取付

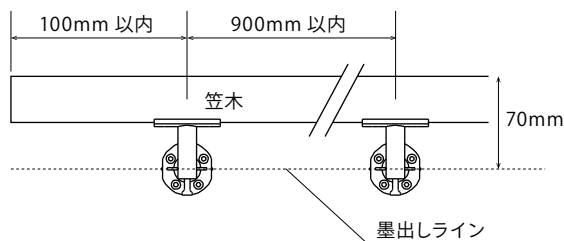
笠木エンドキャップを笠木端部に差し込み、  
ホーローセットM4×12mmで固定してください。





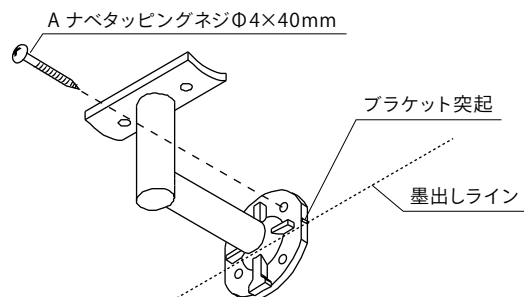
## 1. 墨出し

- ① 手摺の高さ（上端）から70mm下方に墨出ししてください。
- ② 下記の図に沿って、ブラケットの取付位置を決めてください。



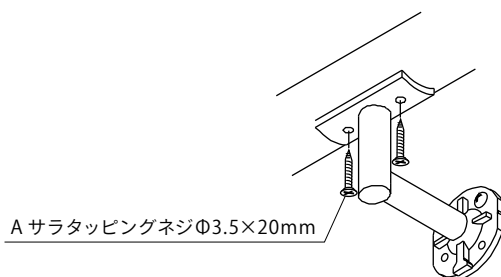
## 2. ブラケットの仮固定

墨出しラインにブラケットの突起を合わせ、  
AナベタッピングネジΦ4×40mmで一か所とめ、  
仮固定してください。  
AナベタッピングネジΦ4×40mmをとめる際は、  
Φ2.8の下穴を開けてください。



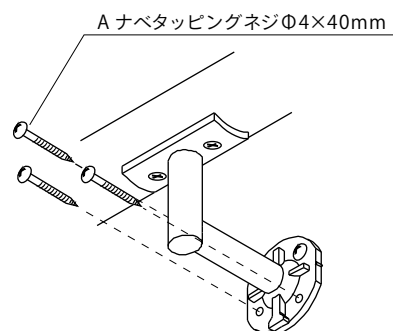
## 3. 笠木の固定

- ① 笠木にΦ2.6mmの下穴を開けてください。
- ② AサラタッピングネジΦ3.5×20mmで  
ブラケットと丸棒を固定してください。



## 4. ブラケットの固定

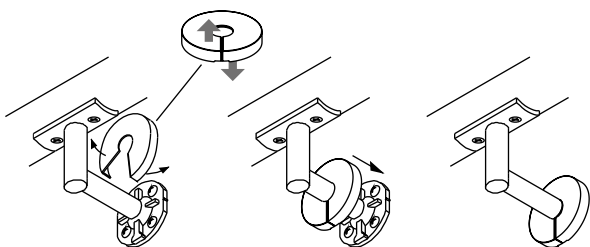
ブラケットに残りのAナベタッピングネジΦ4×40mmを  
取り付けて本固定してください。  
固定の際は、下穴Φ2.8mmを開けてください。



## 5. カバーの取付

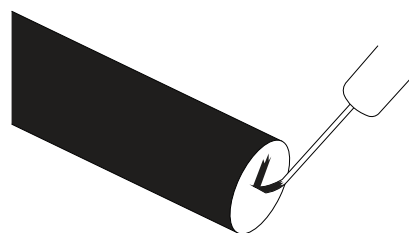
ブラケットにカバーを取り付けてください。  
カバーをねじるようにして広げて取り付けてください。

- ⚠ ブラケットの太さより広げないでください。破損の原因となります。
- ⚠ カバーは外しにくい構造となっています。今後の施工でブラケットを外す可能性が無い状態になってからカバーを取り付けてください。



## ●小口の塗装

手摺小口は、小口塗装用補修液で塗装してください。



## WEB サイトについて

WEB サイトにも各製品の説明や FAQ など掲載しております。



[moritaalumi.co.jp](http://moritaalumi.co.jp)

カタログ・施工説明書や図面のダウンロード（PCのみ）

WEB サイトにて会員登録していただくと、本カタログや各製品の取扱説明書、施工説明書や図面等をダウンロードすることができます。

## お問い合わせ先

各種お問い合わせは大阪本社までご連絡ください。

TEL 072-480-1400

FAX 072-480-1414

受付時間 [平日] 8:30～17:30 [休日] 土日祝

当社製品をご検討いただきましてありがとうございます。

こちらのカatalogに掲載されている製品は、全国の建材商社様経由で販売させていただいております。ご購入方法などに関しては、お近くの商社様・販売店様・工務店様などにお問い合わせください。



社名 森田アルミ工業株式会社  
創業 1972年4月10日  
資本金 3,000万円  
業者登録 一般建設業建具工事業 大阪府知事  
許可（般-19）第128994号  
代表者 森田 和信  
従業員数 95名

本社 〒599-0201 大阪府大阪市尾崎町530-1  
TEL 072-480-1400  
FAX 072-480-1414  
東京オフィス 〒151-0073 東京都渋谷区笹塚1-52-6  
チバビル3F  
TEL 03-6300-6551

※ショールームのご見学希望の方は、東京オフィスまでご連絡ください。各種お問い合わせは大阪本社までご連絡ください。